



# 手元供養

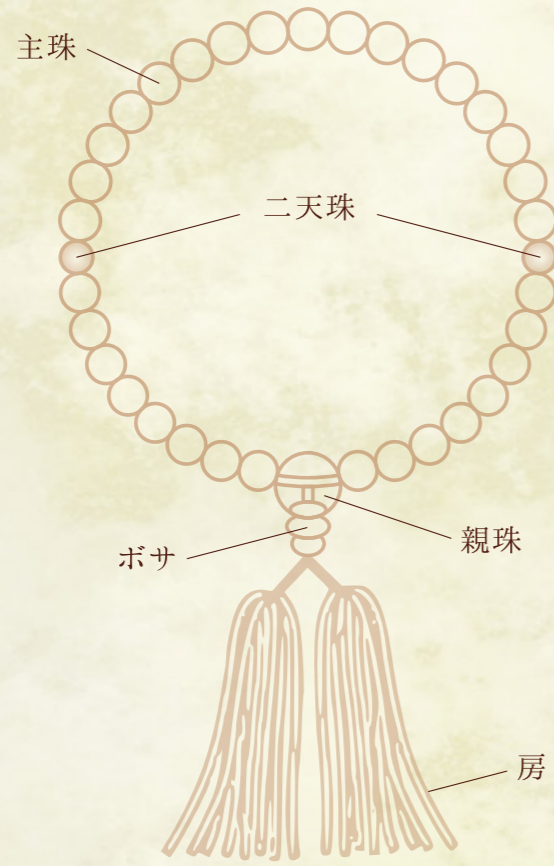
純国産  
MADE IN JAPAN

## 数珠とは

数珠とは「念珠」、「寿珠」などともいわれ、  
現在もつとも身近な仏具として広く普及しています。  
数珠は本来、お経を読む回数をお数える道具でした。  
つまり、「数を念ずる」、「数を記す」ためのものとして「数珠」と呼ばれるようになったといわれています。  
現在は仏式のお葬式や法要には欠かせないものとなり、  
また厄除け、お守りとしての役割も担っています。



お問い合わせ



### 親珠

数珠の中心にある房付きの玉。  
『釈迦如来』『阿弥陀如来』を表します。

### 主珠

『百八尊』『百八煩惱』を表します。

### 中通しの紐

玉を繋いでいる紐。『観音菩薩』を表します。



## 念珠で手元供養

お墓の建立後は、石塔と同一の石で「念珠」をお持ちすることをおすすめいたします。

諸事情によりお墓詣りに行けないときなどは、この念珠を手にとり、

お仏壇に手を掌わせることで、

お墓に行つて手を掌わせた気持ちになれます。

また家族全員が同じ数珠を持つことにより、

ご先祖さまが皆さまをお守りしてくださると考えられます。

※いつでも持ち歩き、ご先祖さまに見守られたいと思う方は、  
数珠プレスもご用意しております。

